

平成 31 年度「コミュニケーション英語Ⅱ－1」学習目標および評価基準

1. 科目およびレポート別の学習目標と学習内容

R 番号	提出時期	学習内容 (教科書の構成)	学習目標	評価の観点のポイント			
			1.積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ることができる。 2. 聞いたり、読んだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。 3. 話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えることができる。 4. 言語や運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる。	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
1	4月下旬	Lesson 1 Fantastic Festivals	イタリアとフィリピンの2つの祭りに関する発表について読み、その特徴や共通点を学ぶ。 [言語材料] 比較級：more, the most [言語活動] 身近な行事について英語で述べる。	世界の祭りについて関心を持ち、身近な行事について間違いを恐れず、書いたり話したりする。	聞いたり、読んだりした内容について英語で答えることができる。	2つの祭りについて聞いたり読んだりしたことから概要や、要点を正確にとらえることができる。	2つの祭りの特徴や共通点について理解している。祭りや、行事の説明に用いられる語句や表現について理解している。
2	5月中旬	Lesson 2 Dancing with Freedom	ダンサーの菅原小春さんについて読み、世界で活躍するまでの道のりについて学ぶ。 [言語材料] 関係代名詞：what [言語活動] 自分がどういう人物なのか英語で伝える。	菅原小春さんという人物と世界で活躍するまでの道のりについて関心を持つ。	聞いたり、読んだりした内容について英語で答えることができる。	菅原小春さんについて聞いたり読んだりしたことから概要や要点を正確に理解できる。	人物の説明に用いられる語句や、表現について理解している。
3	6月中旬	Lesson3 The Sprit of the Forest	日本固有種であるヤマネの生態と絶滅の危機にある現状についての説明文を読んで理解し野生動物の保護について考える。 [言語材料] 現在完了進行形：<have+been+動詞のing形> [言語活動] 気づかう	ヤマネについて関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。	ヤマネについて読んだことに基づき、野生動物の保護について考えをまとめ相手に提案することができる。	ヤマネに関する説明を読み、概要や要点をとらえることができる。	ヤマネの現状と生存の危機について理解している。
4	7月中旬	Lesson 4 Living with Robots	科学技術発達の例としてロボットについて読み、未来の生活について考える。 [言語材料] 名刺を後ろから説明する分詞 [言語活動] 科学技術の発達と未来の社会について、英語で述べる。	ロボットの役割や未来に生活について関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。	聞いたり読んだりした内容について英語で答えることができる。	テーマについての賛成・反対の考えとその理由を正確に聞き取ることができる。	ロボットの現在の役割やロボットとの未来の生活について理解している。
5	8月下旬	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki	「真珠の耳飾りの少女」について書かれたエッセイを読み、絵画作品について印象を述べる。 [言語材料] 名詞を後ろから説明する分詞 [言語活動] 印象を述べる	絵画作品について関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。	絵画作品の描写に適切な表現を用いて話している。	絵画作品に関するエッセイを読み、概要や要点をとらえることができる。	絵画作品の印象を述べるための基本的表現を理解している。

6	9月下旬	Reading 1 Mujina	物語を読み、情景や登場人物の心情を読み取る [言語材料] 不定詞を含む表現 [言語活動] 目的を述べる	未知語や理解できないことがあっても推測するなどして読み続ける。	情景や心情が相手に伝わるように気持ちを込めて暗唱することができる。	情景や心情を考えながら物語を味わって読むことができる。	情景や心情を表すためにどこを強調して読むとよいかについて、その知識を身につけている。
---	------	-----------------------------------	---	---------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------	--

2 評価方法と基準

初歩的な英語を読んで相手の意向などを理解できるようにすることと書き手の意向などを理解する達成度と初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話し、自分の考えなどを書く達成度を評価の規準とする。

上記の学習内容について、上記の評価の観点のポイントに基づいて、レポートの提出状況、スクーリングの出席状況、試験の成績を考慮して総合的に評価を行う。

3 単位の認定

教務内規（11月規定・2月規定および、単位および科目修得認定）に従い、上記総合評価2以上の場合、2単位を認定する。

4 テスト日程

	第1回 テスト	第2回 テスト
テスト日	6月30日・7月1日	9月29日・9月30日